

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00806)

事務事業名称	在宅医療・生活支援センターの維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	015	整理番号	219
現担当課名	在宅医療・生活支援センター		係名	在宅医療・介護連携推進係			連絡先電話番号	4383		昨年度整理番号	219		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和 2年度												
令和 4年度担当課名	在宅医療・生活支援センター							事業評価区分	その他簡易な評価				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 施設利用者及び職員	根拠法令等 (1) (2)	杉並区在宅医療・生活支援センター処務規程
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理を適切に行い、施設利用者及び職員が安全・快適に施設を利用できるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 在宅医療・生活支援センターの維持管理のために、建物保守管理委託料・光熱水費・電話料金等を支出する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								93.9
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	6,861	6,311	5,799	6,082	5,709	5,956	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	850	850	834	0	416	0	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	7,711	7,161	6,633	7,920	7,964	7,795		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	7,711	7,161	6,633	7,920	7,964	7,795	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 219

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	建物保守管理委託料の支出			
	光熱水費の支出			763
	電話料金の支出			509
	その他 (消耗品の購入等)			184
取組成果	建物保守管理委託料や光熱水費等については、杉並福祉事務所に予算を令達し、ウェルファーム杉並の建物全体で一体的に管理を行いました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	建物保守管理委託料や光熱水費等について、概ね予算どおりに執行しています。
事業の方向性・改善策	引き続き、杉並福祉事務所等と連携しながら、ウェルファーム杉並の建物を適切に維持管理していきます。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	ウェルファーム杉並及び在宅医療・生活支援センターのパンフレット印刷や故障したカラープリンタの買い替えに要する費用など、在宅医療・生活支援センターの運営に必要な予算を新たに計上します。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00314)

事務事業名称	救命救急体制の充実				款	04	項	05	目	01	事業	009	整理番号	311	
現担当課名	健康推進課		係名	医療連携担当		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	309					
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成16年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	すべての区民 中学生以上の区民(救急協力員)	根拠法令等 (1) (2)	杉並区急病医療情報センター運営要綱 地域における初期救急対応力整備要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民の急病時の不安解消を目指して、24時間365日病院探しに困らない体制を整える。緊急時に応急手当ができる区民の養成やAEDの配置により、初期救急対応力の向上を図る。医療機関への相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整える。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	急病医療情報センターの利用件数 急病医療情報センターの入電件数 救命講習受講者数
事業内容(事務事業の内容、やり方、手段)	専門の保健師・看護師が医療機関の案内・相談を365日行う杉並区急病医療情報センターを運営し、委託により実施する。迅速・正確に応急手当を行える区民(救急協力員)を養成する。救命講習会を実施する。AED(自動体外式除細動器)の設置・維持管理を行う。医療に関する相談・苦情対応を行う医療安全相談窓口を運営する。	指標説明 成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	応急手当普及のために区が行った救命講習受講者数 救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 区民意向調査による【区民】 救急協力員(すぎなみ区民レスキュー)登録者数 救急協力員(すぎなみ区民レスキュー)累計登録者数【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標(1)	1 件	6,482	12,000	5,549	12,000	5,839	12,000	48.7	95.0
活動指標(2)	2 人	1,021	3,000	1,401	3,000	2,184	3,000	72.8	
成果指標(1)	3 %	71.6	80	69.6	73	67.5	74	92.5	
成果指標(2)	4 人	4,073	4,000	4,553	5,000	5,174	5,500	103.5	
事業費	5 千円	31,256	34,133	29,354	30,483	28,959	36,209	特記事項	
人件費	常勤職員分(再任用含)	6 千円	2,126	3,401	4,922	3,337	4,242	3,327	活動指標(1)対計画比の理由 新型コロナウイルス感染拡大による影響のため、令和4年度は増加しましたが、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻っていません。 活動指標(2)対計画比の理由 新型コロナウイルス感染拡大による影響のため、令和3年度以降は回復傾向にありますが、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻っていません。
	上記以外の職員	7 千円	9,070	7,256	7,350	8,820	9,563	9,563	
総事業費(5+6+7)	8 千円	42,452	44,790	41,626	42,640	42,764	49,099		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計(9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引:一般財源(8-12)	13 千円	42,452	44,790	41,626	42,640	42,764	49,099		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 311

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	急病医療情報センター運営	1	か所	22,526
	A E Dの賃借			4,587
	救命講習テキスト等購入			889
	その他 (謝礼金支払、消耗品購入等)			957
取組成果	<p>杉並区急病医療情報センターにおいて夜間及び土日祝日における急病相談を5,839件受けるとともに、医療安全相談窓口では733件の相談を受けるなど、区民の急病に対する体制や安心して医療を受けられる環境を整えました。また、地域における初期救急対応力の向上を図る救急協力員は、621人増えて延べ5,174人となったほか、保健所独自の講習を含めた救命講習会は136回2,184人が受講するなど、区民等の応急手当の知識と技術の習得を図るとともに、不特定多数の区民が集まる公共施設等にA E Dを延べ379台設置し、初期救急の体制整備を図りました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>急病医療情報センターは、東京都及び東京消防庁が実施している類似の事業と異なり、休日、夜間に専門の保健師・看護師が医療機関の案内や相談を行っており、区民、特に子育て世代の安心感に大きく寄与しています。しかし、インターネットの普及により音声電話の使用が少なくなっており、利用件数の推移や他の類似サービスとの役割分担等、今後の方向性を検討して行く必要があります。</p> <p>地域における初期救急対応力については、救急協力員の養成や応急手当の普及・啓発活動を通じて、維持向上を図る必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>急病診療の受診増加に比例して、急病医療情報センターへの急病相談件数は毎月前年度実績を超えており、今年度は前年度の実績を上回って推移することが予想されます。医療安全相談窓口への相談件数については、前年度と同程度で推移しており、区民の急病時の不安を解消し、安心して医療を受けられる環境を維持していきます。</p> <p>A E Dの操作方法・応急手当技法を学ぶ救命講習については、回数及び受講者数ともに前年度と同規模の実施を予定しており、A E Dの維持管理と併せて、地域における初期救急対応力の向上を図っています。また、A E D賃貸借契約の更新に際して、機能が向上したA E Dを導入しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>急病医療情報センターについては引き続き運営を継続しつつ、相談の件数の推移を長期的に捉え、東京都及び東京消防庁が行う他の類似サービスとの役割分担を随時確認し、効率的な運営を図っていきます。</p> <p>また、医療安全相談窓口については、医療機関への相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整えていきます。</p> <p>救命講習については、同程度の回数や人数で開催することにより、区民等の応急手当の知識と技術の普及・啓発を図るとともに、A E Dの適切な維持管理を継続し、初期救急の体制整備を図っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>急病医療情報センターや医療安全相談窓口の運営により、区民の急病時の不安解消や安心して医療を受けられる環境の整備が求められています。</p> <p>また、応急手当技法を学ぶ救命講座の継続的な実施とA E D設置は、初期救急対応力の向上を図るために必要です。</p> <p>今後の予算についても同規模を維持しつつ、急病医療情報センターの運営については、利用件数の推移や他の類似サービスとの役割分担等を随時検討していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00315)

事務事業名称	急病診療事業の運営				款	04	項	05	目	01	事業	010	整理番号	312	
現担当課名	健康推進課		係名	医療連携担当		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	310					
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和53年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	すべての区民	根拠法令等	(1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱 (2) 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の急病時の不安解消を目指し、一般の医療機関での受診が困難となる夜間・休日等の時間帯においても安心して医療を受けられる体制を整える。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	急病診療所 (医科・歯科) 及び薬局の利用者数 休日等急病診療事業 (医科：固定・輪番、歯科：固定、薬局：固定・輪番) の利用者数 小児急病診療協力医療機関 (東京衛生病院、佼成病院) 受診者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	休日等夜間急病診療所及び休日当番医を設置し、委託により実施する。 歯科休日急病診療所を設置し、委託により実施する。 休日等夜間調剤薬局を設置し、委託により実施する。 小児急病診療協力医療機関 (東京衛生アドベンチスト病院・佼成病院) への委託により、小児急病診療事業を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	小児急病診療事業の委託先医療機関の受診者数 (東京衛生病院、佼成病院) 救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 区民意向調査による【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	5,660	22,000	7,865	23,000	9,516	23,000	41.4	99.2	
活動指標 (2)	2 人	877	2,200	1,288	2,200	1,689	2,200	76.8		
成果指標 (1)	3 %	71.6	80	69.6	73	67.5	74	92.5		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	212,823	213,092	211,876	212,699	211,060	214,420	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,656	10,204	6,674	5,423	7,153	5,823	活動指標(1)対計画比の理由 新型コロナウイルス感染症拡大による影響のため、歯科と調剤薬局は大幅に利用者が減少しています。	
	上記以外の職員	7 千円	2,540	1,814	1,838	1,103	736	736		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	219,019	225,110	220,388	219,225	218,949	220,979			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		活動指標(2)対計画比の理由 新型コロナウイルス感染症拡大による影響のため、令和3年度以降は回復傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻っていません。
	国・都からの補助金	10 千円	4,824	5,108	4,965	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,824	5,108	4,965	0	0	0			
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	214,195	220,002	215,423	219,225	218,949	220,979			

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 312

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	休日等夜間急病診療事業委託	1	件	138,863
	歯科休日急病診療事業委託	1	件	22,623
	小児急病診療体制の確保に関する委託	2	件	25,785
	休日等夜間調剤事業委託	1	件	21,954
	その他 (パンフレット購入、保険料ほか)			1,835
取組成果	<p>区民の急病診療体制を支えるため、杉並区休日等夜間急病診療所受診者数4,721人、当番医 (4所) 受診者数3,060人、杉並区歯科休日急病診療受診者数342人、杉並区休日等夜間調剤薬局処方件数1,031件、輪番薬局処方件数362件で、合計9,516件の診療等を行い、受診が困難となる夜間等においても安心して医療を受けられる体制を確保しました。また、小児の急病診療を確保するため東京衛生アドベンチスト病院と佼成病院において合計1,689人が受診するなど急病時の不安の解消を図るとともに医療体制を確保しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>急病診療等の体制確保については、休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に急病診療を行うことにより、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。特に小児急病診療については、休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において急病診療を実施することにより、子どもを抱える世帯の医療面での不安解消につながっています。このため、今後も同規模の事業が展開されることが求められます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>杉並区休日等夜間急病診療と杉並区休日等夜間調剤薬局の利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻っていませんが、前年度と比較して増加しており、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。</p> <p>小児の急病診療についても、2病院 (東京衛生アドベンチスト病院・佼成病院) において受診者数は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていませんが、前年度と比較して増加しており、子育て世帯の不安解消につながっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に急病診療を行うことで、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。特に小児急病診療については、休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において、子育て世帯を医療面から支援し、不安解消につながっています。今後も地域医療構想なども踏まえ事業を継続していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>急病診療等の体制確保については、区民の救急医療に対する安心感を支えていくものであることから、今後も同規模で事業を継続し、予算についても同規模の支出を予定しています。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00316)

事務事業名称	災害時医療体制の充実				款	04	項	05	目	01	事業	011	整理番号	313	
現担当課名	健康推進課		係名	医療連携担当		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	311					
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	02							
令和 4年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	災害時に開設する緊急医療救護所、医療救護所、震災救援所	根拠法令等 (1) (2)	災害対策基本法 杉並区地域防災計画
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	災害時に発生する負傷者等に対して、適切な応急処置等を行える体制を確立する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	管理している接骨セットの更新件数 平成26年度末に災害救急ミニセット、助産セットの配備を廃止した。 災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	災害拠点病院、災害拠点連携病院等の敷地内に緊急医療救護所を整備し、維持運営を行う。(11病院) 災害拠点病院、災害拠点連携病院等と連携した、実践的な医療救護訓練を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の回数 災害時医療救護体制の変更以降の医療救護訓練回数の累計【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	66	67	66	66	66	66	100.0	95.8
活動指標 (2)	2 所	0	3	0	3	3	3	100.0	
成果指標 (1)	3 回	16	19	16	18	18	22	100.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	14,663	11,890	10,455	11,589	11,103	21,568	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,126	4,252	7,425	8,343	10,564	8,318	
	上記以外の職員	7 千円	1,451	1,088	1,103	1,103	736	736	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	18,240	17,230	18,983	21,035	22,403	30,622		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	61	1,002	150	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	61	1,002	150	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	18,179	16,228	18,833	21,035	22,403	30,622	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 313

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	緊急医療救護所運営助成	11	所	5,500
	医療救護所備蓄品管理			3,075
	災害医療活動拠点の整備			392
	その他 (災害時歯科医療機器の賃借等)			2,136
取組成果	<p>緊急医療救護所の開設等に関する協定に基づき、災害拠点病院・災害拠点連携病院等11病院へ運営協力金を交付し、緊急医療救護所の備蓄品を整備することで災害時に備えました。</p> <p>緊急医療救護所の医療救護訓練を、令和4年10月に救世軍ブース記念病院で、12月に城西病院と浴風会病院で実施し、災害時に備えた区と関係機関の連携を図りました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>緊急医療救護所の医療救護訓練については、常に改善点の検証を行うとともに、震災救援所と連携した訓練や複数の緊急医療救護所同時訓練など実効性のある訓練を実施するため、災害医療連絡協議会を中心に、関係機関との連携体制を更に強化する必要があります。</p> <p>令和5年度からは、より実践に近い訓練とするため、3病院同時実施や情報連携訓練の追加について検討していきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>緊急医療救護所の開設等に関する協定に基づき、災害拠点病院・災害拠点連携病院等11病院へ運営協力金を交付し、緊急医療救護所の備蓄品を整備しています。</p> <p>緊急医療救護所の医療救護訓練については、より実践に近い訓練とするため、3病院同時実施や情報連携訓練内容の修正や追加について検討しています。</p> <p>また、医療救護が必要な災害時要配慮者等の支援として、人工透析患者に対する支援体制について医療機関等と継続して検討しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>災害時に備えるため、災害拠点病院・災害拠点連携病院等11病院への運営協力金交付による、緊急医療救護所の備蓄品整備を継続し、緊急医療救護所の医療救護訓練については、災害拠点病院や災害拠点連携病院等と連携した訓練を同規模で継続するとともに、実効性のある訓練内容とするため常に改善点の検証を行い、災害医療連絡協議会を中心として関係機関との連携体制を更に強化していきます。</p> <p>また、無線等の音声通信手段に加えて文字通信手段の導入することにより通信体制の充実を図るとともに、ICTを活用した新たな保健医療活動体制の整備について検討していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>災害に対する備えとして、緊急医療救護所の維持管理について、いつ発災しても対応できるよう、引き続き実施していく必要があります。また、どのような災害にも対応できる能力を身に着けるため、区と関係医療機関と連携した医療救護訓練は継続して行く必要があります。このため、緊急医療救護所の維持管理や医療救護訓練に係る令和6年度予算については、令和5年度と同規模とし、業務改善等でより効果のある事業を実施していきます。</p> <p>また、災害時における保健医療活動体制を強化するため、ICTを活用した新たな体制の整備を図ります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00317)

事務事業名称	歯科保健医療センター事業			款	04	項	05	目	01	事業	012	整理番号	314
現担当課名	健康推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	312		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成13年度												
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	障害者や有病高齢者等で、一般の歯科診療所での診療が困難な区民 身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民	根拠法令等 (1) 杉並区立保健医療センター条例 (2) 杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	一般の歯科診療所では受診が困難な障害者や有病高齢者等が安心して歯科診療を受けることができる場を提供する。 身近にかかりつけ歯科医を持ち、気軽に相談できる環境をつくる。	活動指標 指標名 (1) 延べ診療件数 (年間) 指標説明 歯科保健医療センター診療件数実績 指標名 (2) 利用者数 (延べ) 指標説明 歯科保健医療センター登録者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並保健所内に、かかりつけ歯科医に関する相談、歯科医療機関の紹介、専門的歯科治療を行う歯科保健医療センターを設置し、運営を委託により実施する。	成果指標 指標名 (1) かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 指標説明 区民意向調査による【社会】 指標名 (2) 延べ診療件数の前年比 指標説明 診療件数の前年対比【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 件	5,249	5,000	5,865	5,000	6,195	5,000	123.9	100.0
活動指標 (2)	2 件	4,366	4,000	4,911	4,000	5,218	4,000	130.5	
成果指標 (1)	3 %	73.7	65.0	79.8	65.0	79.8	65.0	122.8	
成果指標 (2)	4 %	89.0	100	111.7	100	105.6	100	105.6	
事業費	5 千円	66,111	66,676	66,150	65,555	65,523	65,268	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,105	850	1,085	834	998	1,664	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	368	368	368	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	67,216	67,526	67,235	66,757	66,889	67,300		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	67,216	67,526	67,235	66,757	66,889	67,300		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 314

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	歯科保健医療センター運営業務委託	1	件	54,232
	歯科保健医療センター医療機器賃借	1	件	11,283
	その他 (保険料)			8
取組成果	<p>一般の歯科診療所で受診が困難な区民を対象とした歯科診療等について、杉並区歯科医師会に委託して歯科保健医療センターを運営することで、区民が安心して歯科診療を受ける環境を確保しました。また、区内障害者施設職員に向けた口腔ケア指導研修を開始し、施設利用者の口腔ケアを行う職員を支援しました。</p> <p>歯科保健医療センターの事業を円滑かつ適切に実施するため、委託先と事業運営連絡会を2回開催し、連携を図りました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区内障害者施設において歯科検診を実施してきましたが、施設利用者の多くはかかりつけ歯科医があり、施設の歯科検診受診者数が激減したことから、障害者施設歯科検診の目的は果たされたと考えられます。そのため、令和3年度をもって障害者施設歯科検診を終了し、令和4年度から障害者施設職員を対象として口腔衛生を学ぶ口腔ケア指導研修を新たに開始しました。</p> <p>今後は、施設職員の感想や意見をもとに、施設ニーズに応じた研修を行うことが求められています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と事業運営連絡会を開催するなど連携を図りながら、事業を円滑かつ適切に実施するとともに、区内障害者施設職員を対象とする口腔ケア指導研修について、施設ニーズを踏まえ研修目的に沿った効果的な研修内容となるよう実施準備を行っています。</p> <p>予算執行率は、100%になる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>一般の歯科診療所での治療が困難な障害者の高齢化に加え、高齢者人口の増加に比例して有病高齢者の受診が増加傾向にあることから、引き続き安心して歯科診療を受けられる体制を確保する必要があります。また、身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民に、地域の歯科医療機関と連携して、かかりつけ歯科医の相談及び紹介を行い、住み慣れた地域で安心して健康に暮らし続けられる環境を整備する必要があります。</p> <p>引き続き、歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と連携、協力しながら、区民が安心して利用できるよう努めていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>今後も運営の委託先である杉並区歯科医師会と緊密に連携しながら、一般の歯科診療所では受診が困難な障害者や有病高齢者などが、安心して歯科診療を受けることができる場を提供します。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00328)

事務事業名称	各種衛生検査			款	04	項	05	目	01	事業	024	整理番号	324
現担当課名	生活衛生課		係名	衛生検査係			連絡先電話番号	4514		昨年度整理番号	323		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和56年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	生活衛生課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住者、区を含む事業所	根拠法令等	(1) 地域保健法 (2) 食品衛生法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	健康被害の未然防止・被害拡大の防止・再発防止のための行政判断に科学的根拠を与える。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	検査実績検体数 (件) 検体受領回数 (回)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	保健所、防災課、学校整備課等から依頼を受け、衛生微生物検査 (レジオネラ属菌、腸管出血性大腸菌0157等、サルモネラ、黄色ブドウ球菌等)、腸管系微生物検査 (ノロウイルス、腸管出血性大腸菌0157等、赤痢菌、サルモネラ等)、結核菌感染診断検査、新型コロナウイルス検査等を実施する。学務課、保育課から依頼を受け、給食等を対象とした放射性物質の測定を実施する。○流行している感染症など区内の健康課題を踏まえた上で、適宜必要な検査法を確立する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	細菌検査項目数 依頼を受け、検査を行った細菌検査の項目数【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	7,611	12,000	15,646	12,000	10,303	10,000	85.9	63.7
活動指標 (2)	2 回	764	1,000	1,154	1,000	979	900	97.9	
成果指標 (1)	3 項目	43	50	50	48	51	48	106.3	
成果指標 (2)	4 項目								
事業費	5 千円	14,736	60,360	43,994	48,766	31,061	46,233	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	18,762	58,566	59,104	43,170	43,161	37,847	令和4年度事業費減の理由：新型コロナウイルスPCR検査依頼数が減少したことを受け、検査試薬費等、検査実施に係る経費を減額したためです。 執行残の理由：新型コロナウイルスPCR検査需用の減少により、検査実施数が低く抑えられ、検査試薬費等、検査実施に係る経費に執行残が生じたためです。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	33,498	118,926	103,098	91,936	74,222	84,080		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	605	18,238	35,762	39,547	39,464	16,440	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	605	18,238	35,762	39,547	39,464	16,440	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	32,893	100,688	67,336	52,389	34,758	67,640	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 324

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	検査用機器の賃借・備品購入			3,288
	各種試験・検査の材料購入・機器の修理及び保守点検			10,063
	精度管理			318
	新型コロナウイルス検査	1,383	件	17,392
	その他 ()			
取組成果	<p>庁内各課からの依頼に対し、腸管出血性大腸菌O157等の散発事例等に対応するなど迅速かつ正確な検査を行いました。食品苦情に関する検査や給食食材の放射能測定などにより、区民の不安解消につながる科学的根拠を示しました。新型コロナウイルス感染症対策としてPCR検査体制を継続するとともに、季節性インフルエンザ流行期にはインフルエンザウイルスとの同時PCR検査体制を構築するなど、迅速な感染拡大防止対策に努めました。また、変異株の発生動向をより詳細に把握するため、陽性検体の変異株スクリーニング検査方法を一部変更し、PCR検査体制の強化を図りました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>法的検査及び新興・再興感染症等の健康危機発生時に即応できる検査の精度を維持するためには、平時からの検査体制の維持、継続が必要です。</p> <p>国際化・高度化していく検査需要に対応し、迅速かつ正確な検査を実施するために、長年の経験に基づく熟練の検査技術の継承及び研修等を活用した人材育成を計画的に実施し、検査技術の維持、強化を図る必要があります。また、検査の信頼性を確保するため、引き続き検査精度の確認及び評価を計画的に行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び更新についても計画的に行う必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>庁内各課からの依頼に対し、迅速かつ正確な検査を実施しています。感染症や食中毒の発生時等、特に緊急を要する場合には、土日も含め、早急に対応しています。また、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査等に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び耐用年数の超過した検査機器の更新を行い、検査の信頼性の確保に努めています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、新型コロナウイルスPCR検査の検査需要が減少し、予算執行が抑えられています。新型コロナウイルスPCR検査に係る予算が事業予算の約65%を占めているため、事業全体に与える影響も大きく、事業全体での予算執行が低く抑えられる可能性があります。</p>
事業の方向性・改善策	<p>保有している検査機器の保守点検及び更新を継続的にを行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、人材育成を計画的に実施することにより、平時からの検査体制の維持、強化を図ります。併せて、感染症法・地域保健法改正に伴う地方衛生研究所の体制強化にも対応し、新型コロナウイルス感染症発生時と同程度の検査機能を確保していきます。また、新型コロナウイルス感染症に対応するために整備した検査機器等を活用し、近年増加している梅毒、HIV等の性感染症検査等への対応についても新たに検討していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルスPCR検査は今後縮小するものと想定されますが、新たな検査需要に対応し、性感染症検査等の検査を実施していくため、試薬及び器材の購入費用が引き続き見込まれます。また、検査体制を維持、継続するため、機器の維持管理費用、老朽化した検査備品を計画的に更新するための費用及び人材育成のための研修費用の需要も見込まれます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00329)

事務事業名称	在宅医療体制の充実			款	04	項	05	目	01	事業	025	整理番号	325
現担当課名	在宅医療・生活支援センター		係名	在宅医療・介護連携推進係			連絡先電話番号	4383		昨年度整理番号	324		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	在宅医療・生活支援センター							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	在宅療養者及び医療・介護等の関係者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	在宅療養者が安心して生活できるように、在宅医療体制を充実させる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	後方支援病床の協力病院数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内病院と協力して、在宅療養者の一時的な受け入れを行う後方支援病床を確保する。医療・介護等の関係者が在宅療養者の情報を効率的に共有できるようにするため、杉並区医師会が運用する多職種連携 ICT システムに対して補助を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	後方支援病床の利用日数 【行政】 多職種連携 ICT システムの利用者数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 所	11	11	12	12	12	12	100.0	91.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 日	10	100	28	100	20	70	20.0	
成果指標 (2)	4 人	0	200	201	300	308	400	102.7	
事業費	5 千円	80	7,807	6,880	7,769	7,129	13,574	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,826	3,826	5,006	7,926	9,150	8,318	
	上記以外の職員	7 千円	6,893	6,893	6,983	7,350	6,694	7,356	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	10,799	18,526	18,869	23,045	22,973	29,248		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	5,048	13,071	10,623	13,044	10,916	12,954	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,048	13,071	10,623	13,044	10,916	12,954	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	5,751	5,455	8,246	10,001	12,057	16,294	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 325

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	後方支援病床の確保	12	所	160
	多職種連携 I C T システムの運用支援			6,969
	その他 ()			
取組成果	<p>在宅療養者の一時的な受け入れを行った後方支援病床の協力病院に対して補助を行い、在宅療養者が必要に応じて速やかに入院できる体制を整えました。</p> <p>また、医療・介護等の関係者が在宅療養者の情報を効率的に共有できるようにするため、杉並区医師会が運用している多職種連携 I C T システムの経費を補助しました。さらに、区が発行する「在宅医療地域ケア通信」等を通じて、医療・介護等の関係者にシステムを周知し、令和4年度末時点でのシステム利用者数は308人（令和3年度比107人増）となりました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>後方支援病床の利用を促進するため、区内12の協力病院と連携しながら、在宅医療の関係者等に後方支援病床の周知を図ります。</p> <p>また、多職種連携 I C T システムについて、今後、システム利用者数の増に伴う運用経費の増加や、令和6年度から東京都の補助率が10/10から1/2に減少することを踏まえ、杉並区医師会への運用支援のあり方を検討します。</p> <p>そのほか、がん治療に伴う外見の変化で悩みを抱えているがん患者の心理的及び経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上、就労継続及び社会参加等を支援するため、令和5年度からウィッグや胸部補整具の購入又はレンタルに要する費用を新たに補助します。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>7月の「杉並区在宅療養ブック」の更新作業に併せて、在宅医療を実施している医療機関等に対して後方支援病床の周知を行いました。</p> <p>また、多職種連携 I C T システムの運用状況や今後の運用見通し等について、4月から継続して杉並区医師会と意見交換を行いました。</p> <p>さらに、7月からは、がん患者のウィッグ購入費等助成事業を開始し、8月末までの2か月間で48件の申請を受け付け、計137万円余の助成を行いました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>後方支援病床の利用をさらに促進するため、9月に開催する在宅医療地域ケア会議等を通じて引き続き関係者に周知を図ります。</p> <p>また、多職種連携 I C T システムを運用する杉並区医師会と、利用者を増やすための取組や効率的な運用方法等に関する意見交換を継続して行っていきます。</p> <p>さらに、がん患者のウィッグ購入費等助成事業の利用拡大に向けて、都内のウィッグ販売店などに周知を行います。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>多職種連携 I C T システムの利用者数の増に伴う運用経費の増加が見込まれています。また、令和5年度に開始したがん患者のウィッグ購入費等助成事業の周知に係るチラシ等を新たに作成するために必要な予算を計上します。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00343)

事務事業名称	予防接種	款	04	項	05	目	05	事業	001	整理番号	340
現担当課名	保健予防課	係名	保健予防係			連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	339	
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実						予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和23年度							主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和 4年度担当課名	保健予防課						事業評価区分	一般			

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	法令及び要綱に定める接種年齢に該当する区民	根拠法令等	(1)	予防接種法
			(2)	特別区予防接種相互委託協定書
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	A類疾病（ロタ、B型肝炎、4種混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、結核、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、HPV）、B類疾病（インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）、新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延を予防する。任意予防接種の費用を助成することで、接種しやすい環境を作り、疾病予防を推進する。	活動指標	指標名（ 1 ）	A類予防接種の接種件数
		指標説明	指標名（ 2 ）	B類予防接種の接種件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	法令で定められた予防接種を実施する。保護者が予防接種について正しく理解し、接種するよう、普及啓発を行う。一部の法定外予防接種に対し、接種費用の助成を行う。	指標説明	成果指標	1歳6か月児健診受診者の麻しん、麻しん風しん混合予防接種の接種率
			指標名（ 1 ）	接種件数 ÷ 対象者数【行政】
			指標名（ 2 ）	A類予防接種の接種率
			指標説明	接種件数 ÷ 対象者数【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)			
活動指標 (1)	1 件	112,788	112,000	105,729	110,000	112,458	112,000	102.2	91.5			
活動指標 (2)	2 件	86,561	86,000	73,420	74,000	82,856	74,000	112.0				
成果指標 (1)	3 %	103.7	100	95.0	100	96.4	100	96.4				
成果指標 (2)	4 %	96.9	100	90.3	100	97.9	100	97.9				
事業費	5 千円	2,118,241	11,969,798	10,100,269	9,510,337	8,705,408	2,037,042	特記事項				
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	90,812	126,270	269,071	237,314	300,908	205,009	新型コロナウイルス予防接種に係る委託費用について令和5年度に繰越を実施			
	上記以外の職員	7 千円	7,256	18,140	29,400	29,400	33,102	25,746				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,216,309	12,114,208	10,398,740	9,777,051	9,039,418	2,267,797					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	336,901	10,243,319	10,107,576	7,319,139	7,073,005	363,124				
	その他の補助金等	11 千円	137,841	111,482	125,335	104,802	152,918	152,918				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	474,742	10,354,801	10,232,911	7,423,941	7,225,923	516,042				
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,741,567	1,759,407	165,829	2,353,110	1,813,495	1,751,755				

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 340

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	子どもの定期予防接種事業の実施	112,458	件	1,406,672
	B類予防接種事業の実施	82,856	件	498,513
	任意予防接種事業の実施	6,217	件	31,916
	新型コロナウイルス予防接種の実施	499,795	件	6,678,313
	その他 (健康被害救済、印刷等事務費、医師報償費の支出ほか)			89,994
取組成果	<p>HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチンの勧奨再開、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた高齢者インフルエンザ予防接種費用無償化により、子どもの定期予防接種及びB類予防接種とともに、接種件数が増加しました。新型コロナウイルス予防接種は、令和4年度から新たに追加 (4回目) 接種、令和4年秋開始接種、小児 (5歳から11歳) 追加接種、乳幼児 (生後6か月から4歳) 初回接種を開始しました。高齢者の予約の負担を軽減するための会場日時指定の実施等により、高齢者の接種率は、全国平均を上回る実績となりました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>日本脳炎については、令和3年度にワクチン不足となりましたが、令和4年度には解消しました。HPVについては、令和4年度から勧奨を再開しました。また、勧奨を中断していた期間に接種機会を逸した方を対象とした予防接種 (キャッチアップ接種) を令和7年3月31日まで実施することとしたため、制度に関する適切な情報提供や周知を行う必要があります。</p> <p>予診票の発行、接種歴、接種間隔等について、区民や医療機関からの問い合わせが増えており、国からの情報の収集及び適切な説明がますます重要となっています。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、国の方針に基づき、接種対象者の拡大や新たな追加接種の体制を短期間で検討、構築を行い、区民が安心して接種できる体制を整える必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年4月から、带状疱疹予防接種について費用助成を開始しました。当初想定していたよりも多くの方が接種しており、予算の不足が見込まれます。また、HPVについて令和5年4月から9価ワクチンが定期接種の対象となりました。HPVの接種者数は昨年度より増加しています。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、国の方針に基づき新たに春開始接種・秋開始接種を実施し、希望する区民が安心して接種できる体制を整えています。春開始接種では、65歳以上の高齢者の接種率が全国平均 (55.8%) を上回る接種率 (64.4%) となりました (令和5年9月5日時点)。予算執行率は、公的関与対象者の適用範囲の縮小等国の事業変更により50%程度となる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>接種履歴の適切な管理や区民への適切な周知を行っていきます。また、電子申請や予防接種システムを活用し、事務処理の改善に努めます。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、希望する区民が安心して接種できる体制を継続して維持するとともに、広報等を通じ未接種者への情報発信に努めます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>積極的勧奨を中断していた期間にHPVの接種対象であった方への予防接種 (キャッチアップ接種) や風しん抗体検査・風しん第5期定期接種は引き続き令和6年度まで実施する予定であり、5年度と同程度の事業コストが見込まれます。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、令和6年度以降の国の方針が確定次第、方針に基づき、事業内容等を整理し、必要経費を積算します。</p> <p>また、種類や回数が多く複雑な予防接種の制度に対応するため、予防接種システムを活用した事務処理の改善や適切な接種勧奨を引き続き進めます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00344)

事務事業名称	感染症予防・発生時対策				款 04	項 05	目 05	事業 002	整理番号	341
現担当課名	保健予防課		係名	感染症係		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	340
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実						予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和50年度	実行計画事業	目標 04	施策 13	計画事業 04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	保健予防課					事業評価区分	一般			

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、感染症患者及びその接触者等	根拠法令等	(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	感染症発生時に迅速かつ的確に対応し、まん延の防止を図るなど区民の健康を守る。 区民が感染症に関する正しい知識を持ち、自ら感染症の予防ができるようにする。	活動指標	結核患者に対する保健指導件数（訪問、面接、電話等） HIV等性感染症相談件数（電話相談含む）
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	結核患者に対して医療費の公費負担や服薬支援等による療養支援を適切に行う。また、感染者の早期発見のため、感染症法で定められた定期健診の実施・報告の適切な周知、接触者の調査や検査を行う。 HIV等性感染症の早期発見のための検査と予防に関する普及啓発を実施する。 感染症の発生を早期に探知し疫学調査を行うとともに拡大防止のための指導を行う。 区民が感染症やその予防方法についての正しい知識を持てるよう普及啓発を行う。	指標説明	
		成果指標	治療成功率
		指標説明	100% - 治療失敗率（治療が失敗中断した患者数 ÷ 結核患者数）【社会】
		指標説明	保健所HIV抗体検査数
		指標説明	即日検査委託分を含む【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	2,326	1,600	1,634	1,600	1,610	1,600	100.6	80.4	
活動指標 (2)	2 件	174	1,986	199	1,986	496	1,986	25.0		
成果指標 (1)	3 %	99.0	95	100.0	95	97.0	95	102.1		
成果指標 (2)	4 件	51	660	93	660	232	660	35.2		
事業費	5 千円	2,722,322	2,770,481	1,656,714	2,707,513	2,175,836	790,629	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	296,426	203,519	339,958	260,841	337,488	189,734	新型コロナウイルス感染症に係る経費（患者移送費、医療費の公費負担、杉並区受診・相談センターや健康観察の人材派遣の委託費など）を強化しましたが、想定よりも発生件数が伸びなかったことから執行残となりました。	
	上記以外の職員	7 千円	13,678	15,963	32,193	30,356	30,380	18,390		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	3,032,426	2,989,963	2,028,865	2,998,710	2,543,704	998,753			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	842,054	1,332,751	1,502,460	1,805,910	1,962,669	338,402		
	その他の補助金等	11 千円	39,570	5,000	0	1,000	3,565	1,000		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	881,624	1,337,751	1,502,460	1,806,910	1,966,234	339,402		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	2,150,802	1,652,212	526,405	1,191,800	577,470	659,351		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 341

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	結核対策 (診査協議会運営費含む)			108,504
	H I V等性感染症対策			1,941
	新型コロナウイルス感染症対策 (移送費、医療費含む)			1,772,000
	その他感染症対策			2,702
	その他 (新型コロナウイルス感染症対策 (保健予防課以外))			290,689
取組成果	<p>結核については、患者が最後まで治療できるよう患者支援に取り組んだ結果、高い治療成功率を維持することができました。H I V等性感染症については、令和3年度より検査数が増えたため、受検者数が増加しました。新型コロナウイルス感染症対策は、杉並区受診・相談センターの拡充を図るなど、患者へ迅速な対応をすることができました。また、医療機関に対し、転院受け入れや発熱外来の運営費、休業中の経営継続支援、物価高騰に対する支援を行い、区内各所でPCR検査を実施できるよう、移動式の検査スポットを設置し、区民の健康と命を守る体制を確保しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>結核新登録患者数 (杉並区) の過去3年間の推移は以下のとおりです。 令和2年 53人 令和3年 50人 令和4年 38人 H I V新規感染者及びエイズ患者報告数 (東京都) の過去3年間の推移は以下のとおりです。 令和2年度 383人 令和3年度 357人 令和4年度 289人 H I V検査受検者数 (杉並保健所) の過去3年間の推移は以下のとおりです。 令和2年度 51人 令和3年度 93人 令和4年度 232人 また、新型コロナウイルス感染症の過去3年間の杉並区内届出数は以下のとおりです。 令和2年度 4,926人 令和3年度 45,206人 令和4年度 77,808人</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>結核については、患者は減少傾向にありますが、入国制限等の緩和に伴い、結核まん延国出身者の転入が見込まれ、外国人の患者や接触者への対応が増加する可能性があります。H I V等性感染症については、感染者の早期発見及び早期治療が基本的対策であり、感染拡大を防ぐためには、特に早期発見が重要となってきます。新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点などから検査を中止としたため、令和3年度より検査数は増えたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比較して少なくなっています。新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の位置付けが5類へ移行しました。これまでの対応を振り返り、今後の感染症防疫体制を考えることが必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>結核については、結核まん延国からの入国者が見込まれる区内日本語学校に対して、検診を実施しています。結核の患者が服薬を続けられるよう、阻害要因を評価し、患者の状態に合った服薬支援を行っています。H I V等性感染症については、新型コロナウイルス感染症対策が落ち着いたため、新型コロナウイルス発生前に戻り、月2回の検査・相談業務が行えるようになりました。新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日より感染症法上の位置付けが2類相当から5類に変更されたため、法に基づく入院勧告や移送及び医療機関への転院受け入れの支援等がなくなりました。国は9月末まで移行期間としているため一部業務は残っていますが、杉並区受診・相談センターの運営も5月末に終了し、徐々に事業を縮小していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新型コロナウイルス感染症対策が落ち着いたため、通年に実施していた事業の見直し等を検討していきます。 また、令和6年度施行の予防計画等に基づき、今後起こり得る新興感染症等の発生や流行に適切に対処するため、これまでの新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、区内の医療関係機関との更なる連携や備蓄品の拡充、感染症とその予防に関する知識の普及啓発を行う必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>結核については長期的な取組が必要なため、現在実施している対策を引き続き行っていきます。新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の5類となったため事業は縮小します。 今後は、これまでの新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、備蓄品の拡充、感染症とその予防に関する知識の普及啓発を行うため、その経費を計上していく必要があります。あわせて他の事業「新型インフルエンザ等対策」との予算計上方法を見直す必要があります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00345)

事務事業名称	新型インフルエンザ等対策				款	04	項	05	目	05	事業	003	整理番号	342	
現担当課名	保健予防課		係名	感染症係		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	341					
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成19年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	04							
令和 4年度担当課名	保健予防課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、区内在学・在勤者、区内企業、医療機関等	根拠法令等	(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	適切な防疫措置等を実施し、急激な患者の増加を抑えるなど、医療の破綻や社会的混乱を防ぐ。区民等が新型インフルエンザについての正しい知識の下、予防に努めるとともに発生時に冷静な対応ができるようにする。	活動指標	普及啓発活動回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	発生期における危機管理体制及び保健医療体制の整備を行う。発生時に感染拡大防止のための防疫措置等を実施する。区民・関係団体への情報提供・普及啓発を行う。	指標名 (1)	医療関係機関との連絡会の回数
		指標説明	
		成果指標	啓発用物品等の配布枚数
		指標名 (1)	普及啓発に活用した啓発品の配布総数【行政】
		指標説明	
		指標名 (2)	連絡会への医療機関の参加数
		指標説明	連絡会に参加した医療機関の実団体数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	0	1	0	1	2	1	200.0	
活動指標 (2)	2 回	0	1	0	1	0	1	0.0	
成果指標 (1)	3 枚	0	3,000	0	3,000	0	3,000	0.0	
成果指標 (2)	4 人	0	6	0	6	0	6	0.0	
事業費	5 千円	218	3,615	1,540	2,402	0	1,057		特記事項
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,952	5,952	5,840	5,840	5,823	5,823	令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の発生時対策により、従来の普及啓発活動は中止したことから執行残となりました。活動指標及び成果指標については、令和3年度まで防疫等の訓練回数、訓練参加者数を設定していましたが、実行計画に訓練を明記していないため、医療関係機関との連絡会の回数と参加機関数に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	6,170	9,567	7,380	8,242	5,823	6,880		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	352	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	352	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	6,170	9,567	7,028	8,242	5,823	6,880	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 342

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	普及啓発の研修会	2	回	0
	備蓄品等の購入 (感染症予防・発生時対策事業で対応したため実績なし)			0
	その他 ()			
取組成果	<p>普及啓発活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、啓発物品等の配布など従来の啓発活動は中止としましたが、新型コロナウイルス感染症の集団発生を防止するため、医療機関及び社会福祉施設向けの研修会を2回実施するとともにその研修動画を区公式ホームページに掲載するなど普及啓発に努めました。</p> <p>また、防疫に必要な備品等は、東京都や区の感染症予防・発生時対策から支出しているため、新型インフルエンザ等対策の実績はありませんでした。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和6年度施行の予防計画の策定に向け、区の新型インフルエンザ等対策行動計画も見直しとなります。国や都の動向を踏まえ、備蓄品や普及啓発の方法等を検討していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類に位置付けが変更されたとともに、予防対策も見直されました。それに伴い、社会福祉施設向けの研修動画を作成し、区公式ホームページに掲載しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新型インフルエンザ等対策事業は、新型コロナウイルス感染症に対して、東京都や区の感染症予防・発生時対策から支出しているため、ほとんど使用しませんでした。今後この事業にどの経費を充てていくのか検討する必要があります。</p> <p>また、防疫に必要な備品等については、令和6年度施行予定の予防計画や健康危機対処計画に基づき、検討する必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症はもとより、今後も起こり得る新興感染症の発生や流行に適切に対処するため、これまでの防疫体制の見直しが必要です。</p> <p>令和6年4月施行予定の予防計画等に基づき、区内の医療関係機関との更なる連携の強化や検査体制の強化、備蓄品の拡充など防疫体制の強化を図る必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の発生時対策は、他の事業「感染症予防・発生時対策」に計上していましたが、今後は「新型インフルエンザ等対策」事業に新興感染症等の発生時に備えた予算を設け、感染初期から迅速に業務を遂行することが必要です。</p> <p>予防知識の普及啓発活動については、予防接種の意義や集団発生の高リスク施設等に対する感染症予防対策などの周知徹底を図るとともに、区公式ホームページ等を活用した、迅速な情報発信や啓発活動に取り組むなど、総合的な感染症対策を推進していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00352)

事務事業名称	生活衛生課分室の維持管理			款	04	項	05	目	06	事業	008	整理番号	344
現担当課名	生活衛生課		係名	衛生検査係			連絡先電話番号	4514		昨年度整理番号	343		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和56年度												
令和 4年度担当課名	生活衛生課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	生活衛生課分室、設備、機器	根拠法令等	(1) 地域保健法 (2) 食品衛生法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○施設、設備、機器を適正に保守管理し、正確な検査を実施することのできる環境を整備する。	活動指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○施設、設備、機器を良好な状態に維持するため、保守点検及び修繕を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								87.6
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	108,368	17,615	16,195	18,752	16,430	19,806	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	34,584	9,160	9,133	9,133	9,140	9,140	執行残の理由：新型コロナウイルスPCR検査実施件数が減少したことにより、感染性廃棄物処理費の執行残が生じたためです。また、料金高騰に対する国の負担軽減策により、電気料金が想定を下回ったことで執行残が生じたためです。
	上記以外の職員	7 千円	7,256	3,628	3,675	3,675	3,678	3,678	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	150,208	30,403	29,003	31,560	29,248	32,624		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	74,878	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	74,878	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	75,330	30,403	29,003	31,560	29,248	32,624	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 344

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託		1	所
	光熱水費の支出	1	所	3,529
	維持管理	1	所	5,148
	施設修繕	2	件	242
	その他 ()			
取組成果	定期的に施設の保守点検及び修理を行い、設備及び機器等を良好な状態に維持しました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	計画的に施設・設備等の保守点検を行い、必要な修理及び劣化抑制対策を実施しています。 新型コロナウイルスPCR検査の検査需要が減少したことにより、感染性廃棄物処理費用の予算執行が抑えられているため、事業全体の予算執行状況は90%を下回ることも想定されます。
事業の方向性・改善策	施設全体の経年劣化が進んでいるため、随時点検を行い、必要な修理及び劣化抑制対策を実施する必要があります。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	施設全体の経年劣化に伴う修理費用の需用が見込まれます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00699)

事務事業名称	在宅医療・介護連携推進			款 04 項 02 目 04 事業 001	整理番号	595	
現担当課名	在宅医療・生活支援センター		係名	在宅医療・介護連携推進係		連絡先電話番号	4383
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実				予算事業区分	既定事業	
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標 04	施策 13	計画事業 03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
令和 4年度 担当課名	在宅医療・生活支援センター				事業評価区分	一般	

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 在宅療養者及び医療・介護等の関係者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区在宅医療推進連絡協議会設置要綱 杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 在宅療養者が安心して生活できるように、在宅医療と介護の連携を推進する。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	在宅医療地域ケア会議の開催回数 全体会を含む 在宅医療相談調整窓口の開設日数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） 区及び関係機関による在宅医療推進連絡協議会や在宅医療地域ケア会議のほか、医療・介護等の関係者を対象とした在宅医療推進多職種研修や在宅医療推進フォーラムを開催し、在宅医療と介護の連携を推進する。 在宅医療相談調整窓口を設置し、区民及び医療・介護等の関係者から在宅医療に関する相談を受け付ける。	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	在宅医療地域ケア会議の参加者数 全体会を含む【行政】 在宅医療相談調整窓口の相談件数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	5	8	8	15	12	15	80.0	73.9
活動指標 (2)	2 日	243	242	242	243	243	243	100.0	
成果指標 (1)	3 人	266	322	417	743	752	743	101.2	
成果指標 (2)	4 件	346	500	389	500	344	500	68.8	
事業費	5 千円	4,308	8,924	5,439	12,042	8,905	9,183	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	14,880	8,928	16,269	16,686	18,300	16,636	在宅医療を実施している医療機関及び訪問サービスを行っている介護事業者等の一覧を記載した「在宅療養ブック」を全面改訂したことに伴い、委託費が増加しました。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、在宅医療地域ケア会議等の開催回数が計画値よりも少なかったため、執行率が90%未満となりました。
	上記以外の職員	7 千円	3,991	3,991	4,043	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	23,179	21,843	25,751	30,566	29,044	27,658		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,487	5,154	4,267	7,505	5,694	5,303	
	その他の補助金等	11 千円	1,819	1,879	1,171	2,625	1,993	2,069	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,306	7,033	5,438	10,130	7,687	7,372	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	18,873	14,810	20,313	20,436	21,357	20,286	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 595

内容	規模	単位	事業費 (千円)
在宅医療地域ケア会議の開催 (全体会1回を含む。)	12	回	1,591
在宅医療推進多職種研修の実施 (難病理解研修1回を含む。)	3	回	140
在宅医療推進連絡協議会の開催 (認知症対策部会2回を含む。)	3	回	298
在宅医療推進フォーラムの開催	1	回	463
その他 (在宅医療相談調整窓口のリーフレット作成等)			6,413

取組成果

医師及びケア24職員等で構成する在宅医療地域ケア会議を12回開催し、入退院支援における多職種連携のあり方等について意見交換を行いました。また、摂食えん下支援などをテーマとした在宅医療推進多職種研修を3回実施し、看護師やケアマネジャー等が計89名参加しました。さらに、区及び関係機関による在宅医療推進連絡協議会を3回開催し、医療と介護の連携強化を図りました。在宅医療相談調整窓口では、区民及び医療・介護等の関係者から在宅医療に関する相談を344件 (令和3年度比45件減) 受け付け、医療機関との調整を行いました。

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	在宅医療地域ケア会議及び在宅医療推進フォーラムについて、令和3年度はコロナ禍のため8回中7回がオンラインでの開催でしたが、令和4年度は12回中7回を対面で開催することができ、参加者からは、直接顔を合わせて話をする事で一層の連携強化につながったなどの意見がありました。こうしたことから、令和5年度は、在宅医療地域ケア会議及び在宅医療推進フォーラムに加えて、令和4年度にオンラインで開催した在宅医療推進連絡協議会についても、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえた上で、対面での開催を検討します。
課題・分析 (2 / 2)	また、在宅医療相談調整窓口では、在宅医療・生活支援センターに窓口を設置した平成30年以降、年300~400件程度の相談を受けており、引き続き、相談者に寄り添いながら、在宅医療に関する適切な調整を行います。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	在宅医療推進連絡協議会普及啓発・研修部会を4月に、在宅医療推進連絡協議会認知症対策部会を7月に開催し、在宅医療と介護の関係者間の連携強化を図りました。また、在宅医療地域ケア会議の全体会を4月に開催し、令和5年度の活動方針等を共有しました。9月以降は、区内7つの圏域毎の在宅医療地域ケア会議を開催するとともに、在宅医療推進連絡協議会及び在宅医療推進連絡協議会認知症対策部会を3月に開催し、在宅医療の課題等に関する議論を深めていきます。さらに、在宅医療推進多職種研修を10月から1月にかけて計4回実施するほか、2月には区民等を対象に在宅医療推進フォーラムを開催し、在宅医療等への理解を促進します。なお、在宅医療相談調整窓口では、4月から8月までに計108件の相談を受け付けました。
事業の方向性・改善策	在宅療養者が安心して医療を受けられるように、引き続き、在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進連絡協議会等を通じて、医療・介護等の関係機関の連携を強化するほか、在宅医療に関わる多職種の職員を対象とした研修等により、在宅療養・看取り・ACP (アドバンス・ケア・プランニング) 等への理解を広めていきます。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって減少していた在宅医療地域ケア会議の開催は、令和5年度以降計画値どおりになる見込みです。このため、令和6年度予算については、令和5年度と同規模の予算を計上します。	